

令和7年度の事業報告書
(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

特定非営利活動法人 鶴崎文化研究会

1 事業の成果

(1) 当会が管理を受託している「毛利空桑記念館」の来館者数は、令和2年の新型コロナウイルス発生前に比べると、徐々に増えてきてはいるがまだ少ない。

さらに、コロナ禍中の令和4年1月22日に発生した日向沖を震源とする地震で壁崩落などの被害を受けた「天勝堂」の修復がまだなされていない状況であり、来館者の見学やイベント運営などに支障をきたしている。

来館者に対しては、毛利空桑先生や展示物等について、できる限りの説明や案内を行なっている。

(2) 当会のもう一つの主な活動である毛利空桑記念館以外での「歴史ガイド」についても、コロナ禍前に比べまだまだ少ないが、徐々に増えている状況である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係わる事業

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費 (千円)
① 毛利空桑記念館の維持、管理、運営に係わる事業	(ア) 大分市から委託を受け、空桑記念館の維持、管理、運営を行った。 (イ) 空桑記念館に収蔵の空桑の遺品等の整理を行った。 (ウ) 空桑記念館内において、空桑や地域の歴史等についてガイドした。 (エ) 空桑記念館内で、地域の歴史、文化に関する展示会を月替わりで開催した。	(A)年間を通じて (B)空桑記念館 (C)300名	(D)空桑記念館来館者 (E)3,421名	2430
② 地域の歴史的 文化、芸術、史 跡を守り発掘し、 維持していく事 業	(ア) 鶴崎の歴史、史跡等のガイドをした。	(A)年間を通じて (B)各施設前等 (C)10名	(D)見学者 (E)136名	0
	(イ) 清正公二十三夜祭の協賛事業として、「劔八幡宮まつり囃子」と和楽器グループ「竹の音」の演奏会を開催した。	(A)令7・7・23 (B)空桑記念館前 (C)40名	(D)二十三夜祭参拝者 (E)数百名	368
	(ウ) 毛利空桑著「豊薩戦記」の読み合わせ勉強会を開催した。	(A)毎月1回 (B)空桑記念館 (C)80名	(D)勉強会参加者 (E)80名	0
	(エ) 鶴崎公民館主催「ふるさと鶴崎の歴史教室」へ講師を派遣した。	(A)年5回 (B)鶴崎公民館 (C)5名	(D)歴史教室参加者 (E)40名	0
	(オ) 脇蘭室墓所の清掃を行った。	(A)令7・11・11 (B)脇蘭室墓所 (C)5名	(D)墓参拝者 (E)数不明	0
	(カ) 毛利空桑墓所の清掃を行った。	(A)令7・12・22 (B)毛利空桑墓所 (C)6名	(D)墓参拝者 (E)数不明	0

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者数	(D)受益対象者の 範囲 (E)人数	事業費 (千円)
③ 地域の歴史的 景観と環境、遺 産を守り社会と 調和させる意義 を啓蒙する事業	(ア) 鶴崎歴史探訪歩こう会に参加 し、鶴崎地区にある数寺社の歴 史等について説明した。	(A)令8・2・1 (B)鶴崎地区内 (C)5名	(D)市民 (E)60名	0
④ 地域の新しい 文化、芸術を形 成し発展させて いく事業	実施なし			
⑤ 子供たちが地 域に誇りをもっ て成長できる環 境づくりと教育 する事業	(ア) 鶴崎小学校企画の勉強会へ講 師を派遣した。	(A)令7・11・15 (B)鶴崎小学校 (C)2名	(D)2,5年生児童、 保護者 (E)200名	0
	(イ) 鶴崎小学校児童に対し、空桑 記念館で勉強会を実施した。	(A)令8・1・30 (B)空桑記念館 (C)2名	(D)6年生児童 (E)60名	0
	(ロ) 鶴崎小学校児童と天勝堂の掃 除をしながら説明した。	(A)令8・2・13 (B)空桑記念館 (C)1名	(D)6年生児童 (E)60名	0
⑥ 地域の芸術、 文化を形成する 担い手を育成す る事業	(ア) 秋月、大刀洗地区へ研修旅行 に行き、ガイドのやり方などに ついて勉強した。	(A)令7・11・10 (B)秋月、大刀洗 (C)15名	(D)旅行参加者 (E)15名	207
	(イ) 佐伯、野津地区へ研修旅行に 行き、ガイドのやり方などに ついて勉強した。	(A)令8・3・24 (B)佐伯、野津 (C)12名	(D)旅行参加者 (E)12名	150
⑦ 地域の安全、 安心を守る活動 や街おこしなど の活動への助言、 支援事業	(ア) 鶴崎歴史街歩きを企画し、実 施した。	(A)令7・10・28 (B)鶴崎地区 (C)1名	(D)トキハOB会 (E)27名	0
	(イ) 鶴崎デザイン会議へ参加し、 街歩きガイドをした。	(A)令8・3・30 (B)鶴崎地区 (C)3名	(D)会議参加者 (E)12名	0
⑧ 歴史的に意義 のある文献、文 書を翻訳して出 版物として販売 する事業	実施なし			
⑨ 歴史的景観、 環境、史跡を写 真集やDVDと して編集して販 売する事業	実施なし			
⑩ 地域の民芸品 や土産物販売を 通じて普及させ る事業	実施なし			
⑪ その他目的達 成のための事業	特になし			

令和7年度 活動計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

特定非営利活動法人鶴崎文化研究会
(単位 円)

科 目	金 額	
I 経常収益		
1 受取会費		
正会員受取会費	63,000	63,000
2 受取寄付金		
受取寄付金	123,499	123,499
3 受取助成金		
受取民間助成金	0	0
4 事業収益		
空桑記念館の維持運営事業収益	3,658,930	
地域の歴史文化を守る事業収益	270,000	
地域の歴史文化の担い手育成事業収益	0	3,928,930
5 その他の収益		
受取利息	2,417	
雑収入	144,508	146,925
経常収益計		4,262,354
II 経常費用		
1 事業費		
(1) 人件費		
空桑記念館管理者手当	2,430,000	
人件費計	2,430,000	
(2) その他経費		
事業費	725,000	
その他経費計	725,000	
事業費計		3,155,000
2 管理費		
(1) 人件費		
役職手当	120,000	
人件費計	120,000	
(2) その他経費		
總會費	47,520	
事務費	446,900	
専門部活動費	250,000	
通信費	10,500	
交際費	19,500	
図書費	98,000	
慶弔費	32,000	
雑費	699,418	
その他経費計	1,603,838	
管理費計		1,723,838
経常費用計		4,878,838
当期経常増減額		▽ 616,484
前期繰越正味財産額		1,951,495
次期繰越正味財産額		1,335,011

令和7年度 貸借対照表

(令和8年3月31日現在)

特定非営利活動法人鶴崎文化研究会

(単位 円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	1,335,011		
未収金	0		
流動資産合計		1,335,011	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			1,335,011
II 負債の部			
1 流動負債			
流動負債合計		0	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			0
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		1,951,495	
当期正味財産増減額		▽ 616,484	
正味財産合計			1,335,011
負債及び正味財産合計			1,335,011

令和7年度 財産目録

(令和8年3月31日現在)

特定非営利活動法人鶴崎文化研究会

(単位 円)

科 目	金 額	
I 資産の部		
1 流動資産		
現金預金		
手元現金	0	
大分銀行鶴崎支店普通預金	1,114,492	
豊和銀行鶴崎支店普通預金	172,429	
九州労働金庫鶴崎支店普通預金	48,090	
未収金	0	
流動資産合計		1,335,011
2 固定資産		
固定資産合計		0
資産合計		1,335,011
II 負債の部		
1 流動負債		
流動負債合計		0
2 固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		0
正味財産		1,335,011